

第 88 号



人と人

発行

東村山市国際友好協会

編集：広報委員会

東村山市本町 1-2-3

東村山市役所内

☎ 393-5111 内線2562

30周年記念行事終了 新しい友好に向けて

会長 大野 茂



大野 茂 会長

2009年に入り早や二ヶ月が過ぎました。日頃は当会の事業にご支援下さり誠にありがとうございます。心からお礼申し上げます。おかげさまで、昨年は30年の節目を迎え、5月、10月には両市民の相互交流が行なわれました。双方各家庭にて家族の一員として寝食を共にし、それぞれお国柄を特徴とした企画に参加し、相互理解と信頼関係をさらに強固なものとなりました。ひとことに30年というのは簡単ですが、提携以来、多数の両市民が自発的に、ボランティア精神にもとづき、地道に携わってきた結果と信じています。

1月には、米国で新しい大統領が就任され「改革」をスローガンに新時代の幕が開きました。「ソフトパワー外交」が対外政策の考えの様です。どのように展開されるかは皆様と見守って行きましよう。国家間の外交関係は、国益のため自国の望む方向に相手を動かす力関係といわれていますが、私たちとイ市との関係は、国を超越した相互信頼関係で築いて来たと確信しております。私たちは「ハートパワー」を機軸としたお付き合いを

30年の歳月を掛けて今日に至りました。昨年双方の地で、両者が一つのテーブルを囲み過去の交流、今後の方向性等について、30年にして初めての意見交換の場を設けました。

肩をはずらず、本音で話し合った良い雰囲気でした。永年蓄積した交流の結果と思います。2009年度の学生受入れ、青少年の派遣等に改善策が取り入れられ実施段階に入り現在進行中です。その他の交流についても「見栄」をはずらず本音で事を運ぶ様双方心掛けて関係を維持し、一人でも多くの市民が相互の交流に参加できればと思います。

今や両市の交流は草創期から成熟期に入った様です。イ市との関係はもとより、多文化共生へ向けて、さらなる活動を皆様の智慧と実行力を結集し具体化したいものです。

また未来の国際平和のため皆様の支援が必要です。一人でも多くの人の参加をお願いします。

今までの歩みは、行政の支援があったからこそ、良い結果になったと確信し、お礼申し上げますと共に今後の活動にも相変わらずのご支援をお願いいたします。

総会のお知らせ

平成21年度の総会は来る5月16日(土)午後2時より市民センター2階で行います。総会終了後には懇親会も行われます。会員の皆様のご出席をお願いします。

国際交流連盟「新春のつどい」開催

東村山市国際交流連盟主催の「新春のつどい」が1月24日(土)午後2時から市民センターにおいて開催されました。国際交流に関わる3団体(地球市民クラブ、日中友好協会、国際友好協会)の会員を中心に約110名の方々が参加されました。

岩瀬副会長(当協会)の司会で開会挨拶を山川日中友好協会



渡部市長

会長、次に連盟会長の渡部市長より挨拶がありました。また来賓を代表して野田数市議員、加藤公一衆議院議員、谷村孝彦都議会議員の方からご挨拶を頂きました。

引き続き大野会長(当協会)による乾杯の後、美味しいお料理を頂きながらの懇親会に入りました。



懇親会風景

アトラクションとして中国の歌(日中友好)、腹話術(地球市民)、皆で歌いましょう(国

際友好)が行われ、最後に有馬地球市民クラブ会長の閉会挨拶で盛況な新春のつどいはお開きとなりました。

30周年記念行事

「シャンソンの夕べ」

姉妹都市提携30周年を記念し「シャンソンの夕べ」が、会員交流委員会主催により12月9日(火)開催されました。あいにくの冷たい雨でしたが、65名の参加をえて、日本シャンソン協会会員小平市在住の湯田福子さんの素晴らしい歌声が会場に流れました。伴奏は娘さんでピアニストの湯田亜希さん。「百万本のバラ」を全員で合唱しました。30周年記念訪問団として訪米



した会員が中心となつての心のこもった手作りの料理など、軽食を囲んでの歓談とビンゴゲームを楽しみ、心もお腹も満たされて閉会しました。

「市民の集い」を後援

さる2月1日(日)午後、中央公民館で行われた「市民の集い」を国際友好協会として後援しました。これは東村山市のいちとここの教育週間の企画

として教育委員会が主催したものです。第一部は堀田力氏による講演で「人間力の育て方」、第二部では市内中学の生徒会活動の報告が行われました。大勢の市民・学生が集い有意義な集会でした。

歳末たすけあい チャリティー・コンサート

去る12月13日(土)午後マリンバ北星会主催、東村山市国際交流連盟後援のマリンバ・コンサートが富士見公民館で行われました。プロの先生から小



なお子さんの演奏まで見事な演奏に満員の聴衆は大いに楽しみました。当日のチャリティー募金5万円は東村山市社会福祉協議会に寄付されました。

ホストファミリー募集

昨年、姉妹都市交流30周年を迎え、ホストファミリー体験を通じて多くのご家族がイ市との絆を結んできました。今度はあなたもこの素晴らしい体験をしてみませんか？今回はイ市からの訪問学生は7月13日～27日までの2週間当市に滞在します。滞在中は、市内めぐりや茶道・弓道の体験などを通して日本の文化や生活を体験します。イ市からは引率者(女性)と10名の学生が訪れます。彼らを滞在中お世話して下さるホストファミリーを募集します。合わせて、サポーター(ホストファミリーはできないが、数時間自宅に招くことならできる方、各種行事のお手伝いをして下さる方)も募集します。

ホストファミリー募集要項

受入期間	7月13日(月)～27日(月)
応募条件	市内在住で訪問団員に一部屋提供でき、家族のどなたかが歓迎行事等に参加できる。
応募締め切り	3月24日(火)
第1回説明会	4月10日(金)午後7:00 市民センター
申し込み	国際・男女共同参画課(本庁舎1階)に電話、または電子申請(市のホームページの「ネットの申請」を利用)
問い合わせ	国際・男女共同参画課(393-5111 内線2562) *サポーターに応募する方も説明会にご参加ください。
訪問団員紹介	Jana Waits (女) 引率者 Jessica Barszczak (女) 17歳 Brooke Baslee (女) 17歳 Moses Daniel (男) 15歳 Landrin Faiva (男) 17歳 Anna Price (女) 15歳 Matilyn Salva (女) 17歳 Austin Snethen (女) 14歳 Emily Tanner (女) 17歳 Elizabeth Polina (女) 16歳 Sally Waldman (女) 17歳 (学生受入委員会)

平成21年度英会話講座前期受講生募集

募 集

期 間：4月8日から6ヵ月間(20回)
場 所：市民センター
講 師：イギリス人、オーストラリア人
費 用：13,000円(6ヵ月分)
他に国際友好協会年会費(一般2,000円 学生1,000円)テキスト代(2,500円位)
申込み：往復はがきに希望クラス、住所、氏名 電話番号、学生又一般、国際友好協会会員又非会員を明記の上、3月10日までに協会事務局へ(必ずクラスは第2希望も記入して下さい。)
宛 先：〒189-8501 本町1-2-3 市役所 国際・男女共同参画課内 国際友好協会

時間	午後5:30～6:25	午後6:30～7:25	午後7:30～8:25	午後8:30～9:25
曜日	水	水	水	水
	Aクラス入門	Bクラス初級	Cクラス入門	Dクラス初級

※今年度より講師推薦のテキストで新規にスタートです。今年こそ英会話を始めようと思われる方大歓迎です。お待ちしております。

(英会話委員会)

全部知らせたい!! (第三弾)

ユニークな各委員会のこと

今回は、派遣・学生受入・広報委員会を取り上げました。

派遣委員会

青少年の健全育成と国際交流を目的として今年28回目の親善派遣生を送り出す当委員会は、今回からいくつかの新しい試みに取り組みました。

①市内公・私立中学校、高等学校を訪ね、夏休み中に行われる姉妹都市親善派遣団のアピールをした。(より多数の応募者を期待してのこと)

②団員の募集・選考の時期を、従来の3月から前年の12月に早めた。(イ市訪問に関する研修と派遣生同志のコミュニケーションが充分に取れるように)

又、選考に当り最も重視したことは、「親善派遣生である自覚」です。委員会の定めるレベルに達しなければ派遣団員の少ないこともある訳です。

イ市の2週間のホームステイが真に親善友好の絆を強め、若

広報委員会

年3回の広報紙を発行しています。そのうち一回は市内各新聞販売店の方々のご協力を頂き、市内全戸配布をしています。

近日中に当協会のホームページが公開される予定ですので、広報委員会の役目も少しずつ変わって行くかもしれません。ホームページと広報紙との関係はどのようなになっていくのか等、将来像を模索しながらの活動が展

学生受入委員会

者の将来に実を結ぶようにと、きめ細かな数多くの研修が組まれています。

例えば21年度は表のような派遣生の日程に加え、毎月定例委員会も活発に開かれています。

第28回派遣団研修日程	
12月	派遣生募集・選考
1月20日	第1回派遣生説明会
2月27日	第2回派遣生説明会
3月12日	第3回派遣生説明会
4月4日	宿泊研修
5日	(高尾の森わくわくピレッジ)
7月未定	2日間の英会話講習
7月18日	ウェルカム・パーティー
7月20日	イ市学生との交流会
7月未定	第4回説明会兼壮行会
7月28日	イ市へ出発
8月11日	帰国
8月未定	帰国報告会



派遣委員会の皆さん

開されます。

現在10名のメンバーです。取材・写真撮影・記事作成・編集校正・発送作業と結構忙しいのですが、日本語の勉強にもなり楽しみな和気あいあいとやっています。広報活動を通して、当協会とイ市との交流に広く深いかわりを持つことが出来ま

花みずきコーナー

はじめに訃報です。イ市日本姉妹都市委員会元委員長のJohn Roe氏は昨年の12月22日、享年81歳でご逝去されました。

氏は1988年のイ市10周年記念親善訪問団としてご夫妻で来日して以来、当協会の多くの方々と交流を続けて来しました。

大野会長よりお悔やみの手紙をShirley 夫人宛送りました。

イ市の今後の計画を見ますと今年も4月26日(日)恒例の桜まつりが the Sermon Center で開催されます。桜まつりには東村山市よりのプレゼント展示、いけばなの実演、盆栽展示、着物着付け実演、日本舞踊の披露、日本人形展示、当協会々員から寄贈された和装小物の販売など盛りだくさんの日本に関する行事が予定されています。

また今年7月に来市するイ市学生親善訪問団の派遣が決定しており、メンバーとして引率者Jana Waitsさん他10名の学生名が既に発表されています。当方の受け入れ態勢(ホストファミリー)の準備が急がれます。(広報委員会)



受入委員会の皆さん

お礼(和装小物)

30周年行事でご協力頂いた和装類は、一部訪問団に託し、あとは船便で姉妹都市委員会へ送りました。大変喜ばれ「さくら祭り」で販売するとの礼状が届きました。

また訪問団の送迎がネックでホストファミリーを断念する家庭が気楽に引き受けることが出

コーヒーズブレイク

ベビーが来た!

自宅で水中出産をしたい。娘からそんな国際電話を受けた。上の二人の孫は近くの整然としたオフィスのようなクリニックに通院し、出産はその医師が契約している総合病院で、クリニックの医師によって出産した。そして、健康に問題がなく48時間後に、新生児はチャイルドシート(新生児用)に固定されて帰宅した。カルフォルニアでは移動は車しかない。クニャクニャの新生児なのにと、私は心底驚いた。二人目の時には、そんなものかと思うようになった。

そして三人目は自宅で! 水中出産! 「自宅で水中出産出来る技術を持つ授産所を近くに見つけた。万一の場合の病院も決まっているから大丈夫」と。

2007年夏、私が8時間余りの飛行で手伝いに行った次の日、時差ぼけの私に「今日生れそう」。私はエプロンをギュッと締めなおす。部屋の中央に直径2m弱の丈夫なビニールのプールが置かれ、父親が大汗をかいて適温の湯を入れる。室内にやさしいメロディーが流れる。助産婦2人、助手、デューラ(妊婦の心理的サポートをする人)と計4人のチームが次々来宅。プールの中の母親を中心とした話し声に、隣の部屋から様子を見ていた幼い2人と私の緊張は高まる。耐えられず泣き出した二人。子供部屋へ移り「ママは大丈夫よ」と抱きしめていた。そして・・・

ベビーの泣き声。デューラが「大丈夫よ。おいで」(英語である)と呼びに来てくれる。

幼い二人は「(ベビーが)来た!」と子供部屋を飛び出す。ベビーはプールの中で母親に抱かれ皆の祝福を受けている。幼い二人も待ちに待ったベビーを愛しそうにやさしく抱かせてもらう。穏やかで幸せな誕生。室内は喜びの感動に満たされた。助産婦が去ってからもデューラは、しばらくの間母親のそばに寄り添いやさしく話しかけていた。

チームはその後サポートを継続してくれた。今では、ちょっとした手が家族に悲鳴を上げさせている。



K. K The 水中出産 in USA!

中学校間の交流

30周年の記念行事の市民交流の中で、小学校の姉妹校だけでなく、中学校の交流もしてはどうかという話しが出た。それを受け、東村山第二中学校とイ市バイオニアリッジ中学校の学校間の交流に向け、昨年12月より活動を開始した。

二中での名称は「姉妹都市交流クラブ」、バイオニアリッジ中学校では「ジャパニーズ・カルチュラルクラブ」がそれぞれ立ち上がった。

二中では約20名の生徒が、英文で自己紹介などを作成中。今

市民交流

◆平成20年9月2日〜5日まで伊藤美緒さんと金城英一さん(共に第24回派遣学生)がイ市を訪問。ブレンディー・ニコルソン宅に滞在しガル家で夕食会その他ケイリー・アン・キスナーとカンザシティーで買い物を楽しみました。

役員・委員研修

次の要領で研修が行なわれます。3月15〜16日、土肥方面。

当協会ホームページ完成

是非次のアドレスにアクセスして、ご覧下さい。

<http://www.h-ifa.com>

編集後記

姉妹都市提携30周年という記念すべき年が終わります。広報紙の発行も今号で88号です。記念誌とともにお届けすることになりました。

われわれ広報委員も「継続は力なり」を信じ、次の世代へ引き継がなくてはとの思いで頑張っています。



ブレンディー家にて

◆12月21日〜1月9日まで宗綱佑典さん(第25回派遣学生)が